



## <第3回漢字検定試験を実施>

1月18日(金)の放課後に、今年度最後となる第3回漢字検定試験を実施しました。3年生は受験を迎えているため、1・2年生のみの受験で、準2級に1名、3級に3名、4級に6名、5級に3名が挑戦しました。各級のレベルと出題内容は、次のようになっています。

級	対象漢字数	おもな出題内容	審査基準の例
5級	小学校6年生 修了程度 (1006字)	下記の内容に、筆順・画数を 加えた内容	小学校学年別漢字配当表の6学年までの学習漢字 を読み、書くことができる。
4級	中学校在学程度 (1322字)	漢字の読み、漢字の書取、 部首・部首名、送り仮名、 対義語・類義語、同音・同 訓異字、誤字訂正、四字熟 語、熟語の構成	小学校学年別漢字配当表のすべての漢字と、その 他の常用漢字約300字の読み書きを習得し、文 章の中で適切に使える。
3級	中学校卒業程度 (1607字)		小学校学年別漢字配当表のすべての漢字と、その 他の常用漢字約600字の読み書きを習得し、文 章の中で適切に使える。
準2級	高校在学程度 (1940字)		1940字の漢字の読み書きを習得し、文章の中 で適切に使える。

漢字の読み・書取も大事ですが、さらに重要なことは漢字や四字熟語などの意味を理解することです。これは、文章を理解するために、どうしても必要となるものです。

言葉の意味を知ること(語彙力を高めること)で、文章読解力も向上していきます。そしてそれは、すべての教科の学習に影響していきます。母国語の力を高めることは、すべての学習の基盤となります。

## <小川地区町内一周駅伝に参加>

1月20日(日)に、第33回小川地区町内一周駅伝競争大会が開催され、本校からは特設駅伝部男子チームと、ハンドボール部のA・Bチームの3チームが参加しました。また、これとは別に、地区の代表選手として参加した生徒もいました。

朝は曇り空でしたが、風もなく穏やかな天気、競技を開始する頃には日差しも見られました。8:45の開会式の後、9:50に小川中学校校庭の野球部バックネット前から、元気よくスタートしました。全7区間で襷をつなぎ、小川中学校特設駅伝部が優勝テープを切りました。

33回と言う歴史を刻む町内駅伝大会は、まさしく、平成と共に歩んできた大会です。小川町の伝統として継続させていくためにも、小中学生が参加することは大切だと思います。次回も多くの方の参加を期待しています。



スタート前



第1位で駅伝部ゴール



ハンドAチーム



ハンドBチーム

## <男子バスケ部、健闘！>

先週に引き続き、1月20日(日)にいわき総合バスケットボール選手権大会が行われ、男子バスケットボール部が県大会出場をかけて、内郷二中との試合に臨みました。試合の序盤にリードを許し、猛追しましたが一步及ばず、惜敗となりました。

県大会を目標としていた選手たちは大変、悔しい思いが残る大会となりました。しかし、負けること、そして負けた後が大事です。この悔しさをどう練習につなげ、心技体にわたって成長していくか。その姿を期待しています。

## <県立 I 期選抜志願状況の発表>

1月23日（水）の新聞で、県立 I 期選抜志願状況が発表されました。平均倍率1.52倍で、いわき地区では、磐城桜が丘高校（2.18倍）やいわき光洋高校（2.47倍）など、2倍を超える学校・学科が多く見られました。2倍とは、2人に1人の合格と言うことです。試験は1月31日（木）、2月1日（金）で、内定通知は2月5日（火）です。

## <文化委員会、第2回編集会議を開催>

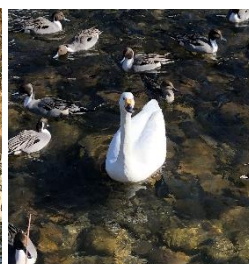
今週の22日（火）の19時から、文化委員会の第2回編集会議が行われ、PTA会報の「二つ箭」の原稿割や原稿依頼の作成などを行っていただきました。委員の方々には、お忙しい時間帯に来校していただき、ありがとうございました。

PTA会報「二つ箭」は年2回の発行となりますが、2回目は年度末の発行となります。1月も日々刻々と時間が過ぎ、来週で1月も終わりとなります。3年生の卒業まで、残すところ一月半です。心に残る、素晴らしい卒業式となるよう、これから準備をして参ります。

## <夏井川に白鳥飛来>

朝晩の冷え込みも氷点下となる日が出ていますが、それに合わせて、冬の使者、白鳥が小川町に多く飛来しています。先週の終末の夏井川には、100羽近くの白鳥が羽を休めていて、可愛らしい鳴き声が響いていました。水辺に寄ると、一羽の白鳥が近づいてきて、じっとこちらを見ていました。何か話しかけられそうな感じでした。親子連れが、白鳥に餌（食パン）を与えていましたので、私も同じように食パンを与えると、素早く嘴ですくって食べていました。

飛来する白鳥は、普段はシベリアやオホーツク海沿岸に生息していますが、冬の寒さが厳しくなる前に、日本などに飛来して越冬します。白鳥が日本から生息地に戻る頃に、日本では春を迎えます。まさしく、3年生が小川中学校を卒業する頃です。



日本に飛来する白鳥の生息地

## <インフルエンザの感染拡大に注意>

先週から今週にかけて、いわき市内でのインフルエンザ感染が拡大しています。小中学生の罹患者は、すでに1000人を越えています。幼児や高校生を加えると、さらに罹患者の数は増えます。また、大人の感染も増えています。体力や抵抗力の弱い小さな子どもや高齢者への感染は、インフルエンザ脳症や二次性細菌性肺炎などの合併症にかかりやすいため、特に注意が必要です。

### <インフルエンザ脳症>

インフルエンザによる発熱中に意識障害やけいれん、嘔吐、頭痛、異常行動・言動などが現れ、最悪の場合は脳障害の進行や多臓器不全をもたらすこともある、命にかかわる重い病気です。インフルエンザ脳症はおもに小児に多くみられ、5歳以下、特に1～2歳に集中しており、1年間におよそ100～300人の小児が発症しています。

### <二次性細菌性肺炎>

生理機能の低下した高齢者がインフルエンザウイルスに感染すると、気道粘膜や全身の抵抗力がさらに低下するため、細菌に感染しやすくなります。その結果、細菌性の肺炎を発症しやすくなります。このように、インフルエンザウイルスに感染したのちに、抵抗力の低下などによって発症した細菌性の肺炎を二次性細菌性肺炎といいます。細菌感染による二次性細菌性肺炎が心配される場合は命にかかわるため、早めに抗菌薬（細菌を殺すお薬）による治療を開始することが重要です。

## 来週の予定

月 日	曜日	給食	おもな行事
1月28日	月	○	放送朝会
1月29日	火	○	カウンセラー 要請訪問（理科・英語）
1月30日	水	○	ノ一部活デー
1月31日	木	×	給食のない日（弁当持参） 県立 I 期選抜
2月 1日	金	×	給食のない日（弁当持参） 県立 I 期選抜 安全点検